

特別活動（学級活動） 「福祉教室」

秦野市立鶴巻中学校



単元（題材）目標

- 手話を学習することを通して、人とのコミュニケーションの大切さを学び、相手の気持ちを理解しようと努力する態度を養う。
- 聴覚障がいのある講師の方から直接手話を学ぶことで、障がいのある人に対する理解を深め、共に生きることの大切さを知る。

(1) 実施時期 2月9日（金）8：30～8：45

(2) 対象（学年等・人数） 第1学年 121名 教職員 5名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第1学年所属 5名

外部講師：市内ボランティアサークル「秦の会」 12名

（各クラス4名 内1名はろう者か難聴者）

(4) 実施内容

- ろう者のミニ講話講演（聞こえない人の体験談を聞く）
- 「聞こえない」とは、どういうことか考える。
- 聞こえない人とのコミュニケーションの方法について理解する。
- 手話や指文字の学習をする。（あいさつや名前）
- 指文字を使って自己紹介をする。
- 今日の学習内容を振り返って、理解を深める。

(5) 成果（生徒の感想より）

- 手話という言葉は知っていたが、「あ」から「ん」まで指文字があるのは知らなかった。将来のためにも自分の名前くらいは覚えておこうと思った。「ありがとう」という手話はただ単にやるのではなくて気持ちを込めて相手に伝えることが大切だと分かった。
- 耳が聞こえない人もみんなと同じように努力して頑張っているということを学んだ。また、手話ができる人がもっと増えてコミュニケーションの幅が広がるといいなと思った。

(6) その他

手話に関する事前学習を1月に行った。3月には事後学習を行う予定。